

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第2区分
 【発行日】平成16年9月16日(2004.9.16)

【公開番号】特開2003-188307(P2003-188307A)
 【公開日】平成15年7月4日(2003.7.4)
 【出願番号】特願2001-386807(P2001-386807)
 【国際特許分類第7版】

H 0 1 L 23/12

【F I】

H 0 1 L 23/12 J

【手続補正書】
 【提出日】平成15年9月1日(2003.9.1)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0022
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0022】

別の態様として、放熱体は、充填材を含むことができる。前記充填材は、好ましくは、有機成分と熱伝導成分とを混合したものでなり、前記メッキ膜によって囲まれた前記サーマルビアの内部に充填される。この構造によれば、メッキ膜を、サーマルビアの孔を埋めるまでに要するメッキ処理時間を短縮し、製造効率を向上させながら、放熱特性を向上させることができる。

【手続補正2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0041
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0041】

図1、図2に示す例は、W-CDMA対応のもであり、電力増幅モジュール2に要求される主な特性は以下のとおりである。

周波数 (f i n) = 1 9 2 0 ~ 1 9 8 0 M H z

出力電力 (P o u t) = 2 7 d B m

電力付加効率 (P A E) = 4 0 % 以上

隣接チャンネル漏洩電力比 (A C P R)

A C P R 1 = - 3 8 d B c 以下 (a t 5 M H z)

A C P R 2 = - 4 8 d B c 以下 (a t 1 0 M H z)

隣接チャンネル漏洩電力比 (A C P R) とは、送信信号の中心周波数から 5 . 0 M H z、または、1 0 . 0 M H z 離れた周波数におけるノイズレベルを、中心周波数の電力レベルに対する相対比で表した値である。電力付加効率 (P A E) とは、出力電力と消費電力との割合をパーセントで表示したもので、高いほど好ましい。